



3月度議員懇談会

高齢化社会を見据えた公共交通の取り組みを学ぶ

3月度議員懇談会を3月1日午前11時から福井商工会議所ビル地

下国際ホールで開催した。

勝木副会頭の開会の挨拶の後、



えちぜん鉄道(株)代表取締役社長豊北景一氏より「相互乗り入れによる交通ネットワークの拡充と利便性向上」をテーマに卓話が行われた。平成28年3月から開始した福井鉄道(株)と田原町駅での相互乗り入れについて説明。この当事業により利便性が向上し、平成28年度の利用者数は、

前年度同時期と比較して約2・8倍、土日限定の「福井鉄道・えちぜん鉄道共通1日フリーきっぷ」の利用者が約2倍に増加。「相互乗り入れで、車から公共交通機関への利用転換を図り、CO2削減を通じて地球温暖化対策にも貢献していきたい」と述べた。

また、今後の課題として昼間の利用者の増加や、電車を利用するライフスタイルの浸透、混雑時の定時運行といった点を上げた。今後の取り組みについては、北陸新幹線福井駅との関連を踏まえた新たな駅のデザイン計画や、コミュニティの核となる駅とまちづくりなどを紹介し、「まちづくりや観光振興に貢献し、地元で愛される鉄道を目指していきたい」と結んだ。

続いて、女性会会長伊登雅子氏より、2月11日に開催された婚活パーティーについての結果が報告



相互乗り入れや、今後の自社の取り組みについて話す豊北氏

された。「2組のカップルが誕生し、少子化対策の一環として行っている婚活事業を、今後も続けていきたい」と述べた。

次に、嶋田浩昌理事・事務局次長より、「県内最強の小規模企業」と題し、アイデアと実行力で大きな成果を上げている会員事業所の事例が紹介された。

最後に、各課より開催予定の事業の説明が行われた。